



# 教育指導課便り

函館市教育委員会  
学校教育指導課  
平成23年4月26日発行  
VOL. 1

## ご挨拶

函館市教育委員会学校教育指導課長  
永井 貴之

今年度の教育指導課の予定表には、5名の名前の欄に色づけをしています。

「その心」は、「誰かがいつもピンチに陥っている」、「うまくいったと思ったら、再び試練が襲いかかる」、「でも、みんなで苦しんで何とか乗り越える」という「ゴレンジャー」のイメージです。(古いですが)

さて、御承知のとおり、今年度のアプローチでお示した平成23年度の重点は「子どもの『確かな学び』の実現を図る取組の充実」です。

教育指導課は、各学校が「あと一步」前進するためのお手伝いに力を尽すとともに、確かな学びと豊かな心を共にはぐくむという観点から、学力向上はもとより、生徒指導や特別支援教育、道徳教育などの一層の充実を目指します。

そのため、**一人一人のスタッフが「あと一步」前進して総合力で学校を支援すること**をテーマに「ゴレンジャー」のようなチームとして、おごることなく、自分たちの役割や立場を自覚しながら、労を厭わずに業務を推進していきたいと考えています。

どうか1年間よろしくお願いいたします。

## ～STAFF紹介～

山本 良子 指導主事	主に教育課程全般について担当します。
小濱 誠 指導主事	主に学力向上にかかわる取組を担当します。
田中 登 指導主事	主に生徒指導・外国語教育を担当します。
小棚木こずえ指導主事	主に特別支援教育を担当します。

## シリーズ：言語活動の充実に向けて①

今年度の指導課便りで  
連載します。

言語は知的活動（論理や思考）の基盤であるとともに、コミュニケーションや感性・情緒の基盤であるとされています。（平成20年中教審答申）

言語活動には大きく分けて、次の役割があると考えてよいでしょう。

### 知的活動（論理や思考）に関すること

#### 留意点

- 事実等を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝えること
- 事実等を解釈し説明するとともに、互いの考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること

### コミュニケーションや感性・情緒に関すること

#### 留意点

- 互いの存在についての理解を深め、尊重していくこと
- 感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を交流したりすること

